

資料室便り

交通専門図書館
交通経済研究所資料室

交通経済研究所資料室で収集・保管している資料をご紹介します。交通に関心のある本誌読者のみなさまの一助となれば幸いです。

新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）

『ドライバーレスの衝撃

—自動運転車が社会を支配する』

サミュエル・I・シュウォルツ著、小林啓倫訳／白揚社発行／2019年12月／四六判／366ページ／2,500円＋税

本書は、2018年11月に出版された No One at the Wheel : Driverless Cars and the Road of the Future の邦訳である。著者のサミュエル・I・シュウォルツはニューヨーク市の運輸局で約20年勤務した経歴を持っており、さまざまな交通問題へ対処するなかで、理論のみならず自動車が社会に与える影響を現場で目の当たりにしてきた人物だ。自動運転車がもたらす影響とはどんなものか？また、自動運転車によって生じる混乱が私たちの日常生活に波及する間、人々や社会、政府はどんな選択を迫られるのか？そうした影響や選択について、本書では従来の技術面や倫理面の議論だけでなく、きたるべき自動運転社会全体を俯瞰的に論じている。そして、決してバラ色とはいえない「自動運転車と道路の未来」を解説する内容となっている。

目次：昨日、今日、明日——未来は今／インフラストラクチャー——少ないほうが豊かになる／交通と土地利用の未来／ビジネスと消費者主義／命を救う——健康と安全にとって自動運転車はプラスか？／メーカー、ドライバー、乗客、歩行者——倫理に関する難問／未来へ 原□

『AIの時代と法』

小塚荘一郎著／岩波書店発行／2019年11月／新書判／246ページ／840円＋税

本書は、AIが普及する時代に生じてくる法の諸問題について、総務省AIネットワーク社会推進会議構成員等を務める法学者（学習院大学教授）が、広く論じたものである。AIの利用が普及し、データの価値が増大する時代において、取引の形態は「モノからサービス」、対象は「財物からデータ」、ルールは「法／取引からコード」へと変化が起きている。そして、このテクノロジーの革新によってもたらされた経済活動の変革は、企業のあり方のみならず、国家と企業の関係も変え、法に対しても影響を及ぼしている。このような変革の中で、日本は、近代法の体系と現実社会のズレを意識しながら、それを埋めようと努力してきた経験の有することから、AIと「法」の関係について自覚的に考え、「法」の限界を意識しつつ、AIのよりよいガバナンスを模索していく役割を担うことがふさわしいのではないかと述べられている。

目次：デジタル技術に揺らぐ法／AIとシェアリング・エコノミー——利用者と消費者の間／情報法の時代——「新時代の石油」をめぐる法と契約と技術——何が個人を守るのか／国家権力対プラットフォーム／法の前提と限界 古森□

新着情報（2020年2月分）

*資料室で入手した主要図書をお伝えします。

記事の構成：書名、編著者名、発行所、発行年月

<和 書>

- 1 北陸から問う、土木のちから。——インフラなくして国家なし 藤井聡、市森友明 北日本新聞社 2019年12月
- 2 交通調査実務の手引〔改訂〕 高田邦道監修、交通工学研究会交通技術研究小委員会編著 同会、丸善出版（発売） 2019年10月
- 3 国際輸送ハンドブック 2020年版 オーシャンコマース 同社 2019年12月
- 4 国際物流事業者要覧 2020年版 オーシャンコマース 同社 2019年11月
- 5 物流論〔第2版〕 齊藤実、矢野裕児、林克彦 中央経済社 2020年2月
- 6 ロジスティクス業界大研究〔新版〕 二宮護 産学社 2020年1月

- 7 間違いだらけの日本のインバウンド (扶桑社新書 319) 中村正人 扶桑社 2020年1月
- 8 地域発展の観光戦略 安田信之助編著 創成社 2019年11月
- 9 路面電車年鑑 2020 イカロス出版編 同社 2020年2月
- 10 数字でみる鉄道 2019年版 国土交通省鉄道局 監修 運輸総合研究所 2020年2月
- 11 新幹線は地域をどう変えるのか——フォーラム新幹線学 2020 櫛引素夫 古今書院 2020年2月
- 12 臨場——渋谷再開発工事現場 真壁智治 平凡社 2020年1月
- 13 年鑑バスマ 2019-2020 ぼると出版編 同社 2020年1月
- 14 ドライバーレスの衝撃——自動運転車が社会を支配する サミュエル・I・シュウォルツ著, 小林啓倫訳 白揚社 2019年12月
- 15 モビリティサプライヤー進化論——CASE時代を勝ち抜くのは誰か アーサー・ディ・リトル・ジャパン 日経BP 2019年12月
- 16 トヨタの未来——生きるか死ぬか 日本経済新聞社編 同社 2020年2月
- 17 アメリカ航空産業の現状と今後の展望——米国の空港混雑問題とスロット調整方式 運輸総合研究所ワシントン国際問題研究所編 同法人 2020年1月

<外 国 書>

- 18 Verkehr in Zahlen 2019/2020 Deutsches Institut für Wirtschaftsforschung (DIW) 編 Bundesministerium für Verkehr und digitale Infrastruktur 2019年
- 19 Smart Delivery Systems——Solving Complex Vehicle Routing Problems Jakob Nalepa 編 Elsevier 2020年
- 20 From Mobility to Accessibility——Transforming Urban Transportation and Land-Use Planning Jonathan Levine, Joe Grengs, Louis A. Merlin Cornell University Press 2019年
- 21 Parking——An International Perspective Dorina Pojani, Jonathan Corcoran, Neil Sipe, Iderlina Mateo-Babiano, Dominic Stead 編 Elsevier 2020年
- 22 Airline Economics in Europe (Advances in Airline Economics 8) Kevin Cullinane 編 Emerald Publishing 2019年
- 23 Airline Economics in Asia (Advances in Airline Economics 7) Xiaowen Fu, James Peoples 編 Emerald Publishing 2019年

書庫のなかから (所蔵資料の紹介)

『陸運十年史——第二次大戦と運輸経済』

日本国有鉄道/1951年/全4巻

『陸運二十年史——第一次大戦末期より日華事変勃発に至るまでの運輸経済』

日本国有鉄道/1956年/2巻+年表

鉄道開業 50 年に刊行された『日本鉄道史』(1921年)と本誌 2020年3月号で紹介した『日本国有鉄道百年史』(1969~1974年)の間に刊行された鉄道史の2文献である。

前者は太平洋戦争中に編纂がはじまるが、戦争が激化して中断した。戦後 1946年から編纂が再開され、戦時期間における資料の収集、整理、取りまとめからはじまる。この作業はかなり苦労を要したそうである。内容は、日中戦争開始時期から公共企業体：日本国有鉄道成立直前まで。戦時交通編と戦後交通編の2部構成である。

後者は前掲『日本鉄道史』に続く、第一次世界大戦末期から日中戦争がはじまるまでの約20年間を取りまとめたものである。国有鉄道編、民営鉄道編、自動車編、小運送事業編の4部構成からなっている。

なお、この両書の編纂には戦後新設された運輸調査局、すなわち交通経済研究所があたっている。編纂過程において同組織の専門性が反映されているのが特徴である。 土方□

交通経済研究所資料室のご案内

交通経済研究所では、交通に関する調査・研究を目的とされている方へ所蔵資料の一部を公開しています。交通に関する各種統計や基本書などをご利用いただけます。利用方法の詳細につきましては、私どものホームページをご覧ください。

なお、閲覧をご希望の方は、電話、ファックスなどでご連絡くださいますようお願いいたします。また、現在貸出および複写サービスは実施しておりませんので、どうぞご了承ください。

一般財団法人 交通経済研究所 資料室

住 所：東京都台東区上野7-1-1

郵便番号：110-0005

電話番号：03-3841-4165

ファックス：03-3841-4859

URL：https://www.itej.or.jp/

最寄駅：JR/東京メトロ 上野駅から徒歩3分

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳